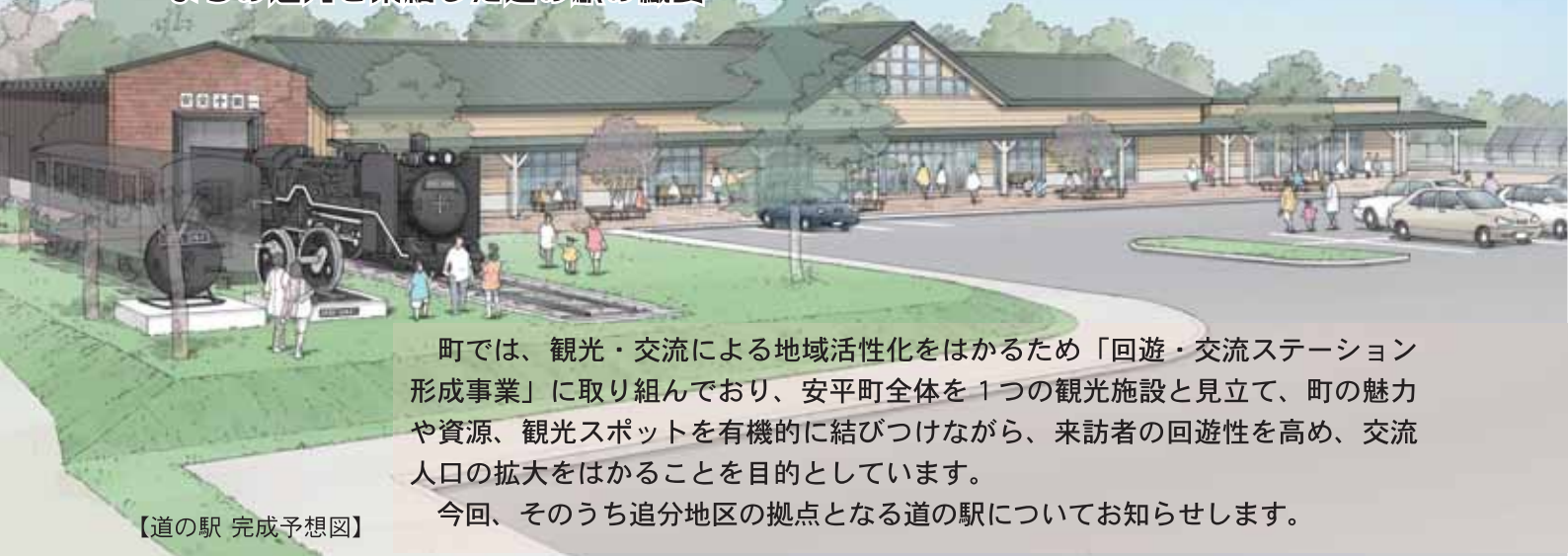


道の駅の完成予想図をお知らせ！

～まちの魅力を集結した道の駅の概要～



【道の駅 完成予想図】

町では、観光・交流による地域活性化をはかるため「回遊・交流ステーション形成事業」に取り組んでおり、安平町全体を1つの観光施設と見立て、町の魅力や資源、観光スポットを有機的に結びつけながら、来訪者の回遊性を高め、交流人口の拡大をはかることを目的としています。

今回、そのうち追分地区の拠点となる道の駅についてお知らせします。

私たちが住む安平町には、時間をかけて先人が育んできた「農産品」「特産品」「歴史・文化」「風景」など、他にはない地域の『強み』が多数あり、これらはこの町に住む多くの「人」によって支えられています。

これらの『強み』は、人を集客するだけの潜在能力がありますが、地域に分散しているため、新千歳空港や苫小牧港などの北海道の玄関口や札幌エリア等の都市圏に隣接していながら、その力を十分に活かしきれていない状況にあります。

建設する道の駅では、地域の『強み』である質の良い農産品や特産品、歴史・文化、そしてこれらを支える人の力をこの場所（ステーション）に集結させて、相乗効果によって更に価値を高め、町内外の人々との交流・つながりを生み出し、町全体の活性化を目指します。

4つのステーション機能

食の魅力発信ステーション機能

町内の農畜産品や加工品をはじめとした優れた特産品を集結させて、PR強化と販路拡大をはかります。

交流促進ステーション機能

町民と町外からの来訪者を集結させて、都市と農村の交流を促します。

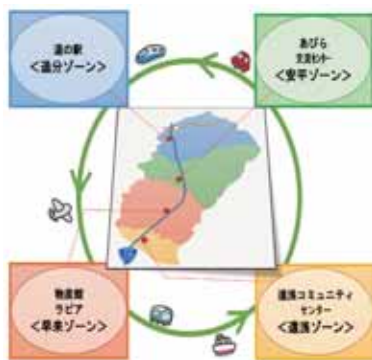
観光情報ステーション機能

季節に応じた観光ルートや施設情報等を集結させて、来訪者へ効果的に発信し、町全体への回遊を促します。

文化・歴史ステーション機能

全国有数の保存状態を誇るS

L車両や歴史文化に関する貴重な資料と映像を集結させて、来訪者の地域理解につなげます。



道の駅に開設するコーナー

①無料休憩コーナー 来館者が快適にゆっくりと利用できるよう、充実した休憩空間を確保します。また、一部スペースには

昭和中期の駅舎を再現し、SLが活躍した時代の懐かしい雰囲気を出します。

②SL車庫 「D51・320」型蒸気機関車をはじめ、現在鉄道資料館に展示している資料を移設し、町の発展を支えた鉄道文化を後世に伝えます。また、車庫内にはピットを設け、SLの車両を下から見学できる造りとしています。

③テイクアウトコーナー 地場産品を活用した当地ならではの軽食やスナック類、ドリンク等を提供します。

④ベーカーリーコーナー 来訪者の需要が高いパン類を販売するコーナーを設けます。人気度の高い一般商品のほか、町の特産品をトッピングしたオリジナル商品のメニュー化を目指します。

⑤特産品販売コーナー チーズや菓子類、農産物加工品や食肉加工品など、町の特産品を幅広く揃え、来館者へ地場産品をPR販売します。

⑥農産物直売所 町内で生産される新鮮な農畜産品を販売します。なお、夏期は直売所での販売を、冬期は道の駅本体施設での販売を想定しています。